

奥様のかゆ〜いところに手が届く まごの手新聞「無料」

3月24日は
マネキン記念日



「マネキン記念日」

3月24日は「マネキン記念日」です。昭和3年(1928年)のこの日、高島屋呉服店が行った昭和天皇の大礼記念展覧会で、初めて女性のマネキンが登場しました。もともと欧米ではファッションモデルと人形両方の意味で使われていたマネキンという言葉ですが、日本では大正15年にマネキン人形が輸入されてから、マネキン人形のイメージが先に定着していたようです。フランス語のマヌカン(mannequin)を英語読みするとマネキンとなり、「招金」に通じるためこう呼ぶようにしたともいわれます。

趣味を始めよう!

大自然と親しむ「トレッキング」

の中を歩くことを考えて夏でも長袖を着ます。黒い服は、熊と勘違いしたハチの襲撃を受ける危険があるので避けましょう。汗をかいた時の着替えや、ワイン

ドフレイカー、雨ガッパなども用意しておきたいですね。他にも、救急薬、コンパスなど、いざという時のことを考えて準備は念りなく。大自然に足を踏み入れるには、それなりの心構えが必要です。正しい情報をもとに、山を大いに味わってくださいね。



フリー百科事典『ウィキペディア』<トレッキング>
<http://ja.wikipedia.org/wiki/トレッキング>

がんばれ! 子育てファイル

優しくされて、優しさは育つ



学校でのいじめの話などを通して、「近頃の子どもは心が育っていない」「優しさが感じられない」など、嘆く声をよく聞かれます。そんな子どもたちが育つ環境や、家族たちとの関係などに、簡単には片付けられない問題がある場合は少なくありません。しかし、わが子以外の事は「その子の親の責任」で済ませるのは考えものかもしれません。血はつながっていませんが、大人たちの接し方が子どもの成長に大きく影響することが分かっています。学校の行き帰りに「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と声をかけてくれた近所のおじさんやおばさんのことは、大人になっても忘れなものです。たまに「飛び出したら危ないよ」「あいさつはちゃんとしなさい」などと叱られて、神妙に聞いた覚えがある人もいるでしょう。親から言われるよりも素直に聞ける時があるのは不思議ですね。たとえ叱られたとしても、その奥にある思いやりが子ども心に植え付けら



れたように感じます。今も昔も変わらず、子どもを豊かにするのは周りの関わりです。自分に関心を持ち、受け入れてくれる大人の存在は、子どもに安心と安定感を与えるといえます。私たち大人が周りの子どもたちにもう少し関心を寄せて、優しく接してみませんか?それが、子どもたちの心に優しさを芽生えさせる種になるのかもしれない。

あなたらしく生きる100通りの方法

迷った時は
「何のために」と
立ち戻って考えましょう
そうすれば
今、優先すべきことが
見えてきます



STOP!